









支出命令書 (一般)

市長 **	副市長 **	教育長 **	部長 **	次長 **	課長 	課長補佐 	係長 	担当者 
会計管理者 	会計課長 	課長補佐 **	係長 	担当者 **	入力 	財政課合議 **	検収者	


起票日	令和5年9月5日	所属	080100 市議会事務局
年度	令和5年度	会計	01 一般会計
科目	01 議会費	予算区分	0 現年度
目	01 議会費		
事業	040000 議会調査研究事業		
節	18 負担金、補助及び交付金		
細節	90 その他		
細々節	06 政務活動費		

金額	5,803 円	所得税	0 円	タイムカード(出勤簿)確認
支払回数	7 回	雇用保険料	0 円	源泉徴収確認
負担行為額	600,000 円	その他	0 円	被服貸与台帳記載確認
支出命令済額	72,782 円	控除額合計	0 円	通勤経路及び金額確認
負担行為残額	527,218 円	請求書番号		
源泉支払内容	*****			

件名 事務費 キヤノンプリンターインク (BCI-370<PGBK>×2個、371<C>×2個、371<GY>×1個)

摘要

支払方法	21 現金払	支払希望日	令和5年9月22日
住所			
名称	市民クラブ代表者 丸谷 正八郎		
役職等/氏名			
銀行/口座			
口座名義人	債権者番号		

領収 住所 氏名 市民クラブ代表者 丸谷 正八郎 領収印 








上記の金額を領収しました。

支払済

令和5年 9月22日 泉大津市 会計管理者 あて

支出負担行為
確認 

01  負担行為番号 05-002563
伝票番号 05-009348 呼出番号
整理番号 05-000008-07  00535455


供	議長	副議長	局長	次長	次長補佐	議事調査係長	庶務係長	主査
覧								

別記様式第5号 (第4条関係)

政務活動費交付請求書

令和5年9月5日

泉大津市長
南出賢一様
(泉大津市議会議長経由)

会派名 市民クラブ
代表者名 丸谷正八郎 

政務活動費交付請求書

泉大津市議会政務活動費の交付に関する規則第4条の規定により、下記のとおり政務活動費を請求します。

記

交付請求額	5,803円		
内 訳	キヤノン(株)インクカートリッジ BCI-370PGBK 2個×@1,349円 BCI-371C 2個×@1,035円、BCI-371GY 1個×@1,035円		
支払先	(株)イノウエ商事		
予算科目	事務費	交付残額	527,218円
使用者名	市民クラブ		

納品書 登録番号 T9120101042177



市民クラブ

様

取引先コード	年月日	伝票番号
1001-100	R5.9.5	881833-1

TEL 0725-23-1147 (代)
FAX 0725-22-4445

JOINTEXコード/メーカー名	製品品番/品名	数量	単位	単価	金額	備考
887530 キヤノン	BCI-371C インクカートリッジBCI-371C	2.00	個	1,035.00	2,070	売上
887528 キヤノン	BCI-370PGBK インクカートリッジBCI-370PGBK	2.00	個	1,349.00	2,698	売上
887533 キヤノン	BCI-371GY インクカートリッジBCI-371GY	1.00	個	1,035.00	1,035	売上
					明細合計	5,803
					消費税額	0
					伝票合計	5,803

摘要	(内消費税等 527)	明細合計	5,803	検印
(10%対象 5,803 消費税 527)	消費税額	0		
	伝票合計	5,803		

「※」は軽減税率対象であることを示します。

請求書 登録番号 T9120101042177



市民クラブ

様

取引先コード	年月日	伝票番号
1001-100	R5.9.5	881833-1

TEL 0725-23-1147 (代)
FAX 0725-22-4445

JOINTEXコード/メーカー名	製品品番/品名	数量	単位	単価	金額	備考
887530 キヤノン	BCI-371C インクカートリッジBCI-371C	2.00	個	1,035.00	2,070	売上
887528 キヤノン	BCI-370PGBK インクカートリッジBCI-370PGBK	2.00	個	1,349.00	2,698	売上
887533 キヤノン	BCI-371GY インクカートリッジBCI-371GY	1.00	個	1,035.00	1,035	売上
					明細合計	5,803
					消費税額	0
					伝票合計	5,803

摘要	(内消費税等 527)	明細合計	5,803	検印
取引銀行	(10%対象 5,803 消費税 527)	消費税額	0	
		伝票合計	5,803	

「※」は軽減税率対象であることを示します。

領収証 市尾クラブ

様 No. _____

★ / 5,800-

但 ポイン イマタツコジ

R5 年 9 月 25 日 上記正に領収いたしました

内 訳

税抜金額

消費税額等(%)

コクヨ ウケ-6N

大阪府泉大津市菟孫子2-4-20
株式会社 **イワエ** 工商事
電話 0725-23-1147(代)

支出命令書 (一般)

市長 **	副市長 **	教育長 **	部長 **	次長 **	課長 	課長補佐 	係長 	担当者
会計管理者 	会計課長 	課長補佐 	係長 	担当者 **	入力 	財政課合議 **	検収者	

起票日	令和 5年 9月 20日	所属	080100 市議会事務局
年度	令和 5年度	会計	01 一般会計
科目	款 01 議会費	予算区分	0 現年度
目	項 01 議会費		
	目 01 議会費		
	事業 040000 議会調査研究事業		
	節 18 負担金、補助及び交付金		
	細節 90 その他		
	細々節 06 政務活動費		

金額	20,380 円	控除	所得税 0円	タイムカード(出勤簿)確認
支払回数	8回		雇用保険料 0円	源泉徴収確認
負担行為額	600,000 円		その他 0円	被服貸与台帳記載確認
支出命令済額	93,162 円	請求書番号	控除額合計 0円	通勤経路及び金額確認
負担行為残額	506,838 円			
源泉支払内容	*****			

件名 研究研修費 10/12~10/13 第85回全国都市問題会議参加負担金及び振込手数料

摘要

支払方法	21 現金払	支払希望日	令和5年 10月 - 4日
住所			
債権者名	市民クラブ代表者 丸谷 正八郎		
役職等/氏名			
銀行/口座			
口座名義人	債権者番号		

領収住所			領収印	
領収氏名	市民クラブ代表者 丸谷 正八郎			

上記の金額を領収しました。

支払済

令和5年 10月 - 4日
泉大津市 会計管理者 あて

支出負担行為 確認

001

負担行為番号
05-002563

伝票番号

05-010385

整理番号

05-000008-08









呼出番号

00538681



05 01 01-01-01 04-00-00 18-90-06

5年 9.22


供	議長	副議長	局長	次長	次長 補佐	議事調 査係長	庶務 係長	主査
覧								 

別記様式第5号(第4条関係)

政務活動費交付請求書

令和5年9月20日

泉大津市長
南出賢一様
(泉大津市議会議長経由)

会派名 市民クラブ
代表者名 丸谷正八郎 

政務活動費交付請求書

泉大津市議会政務活動費の交付に関する規則第4条の規定により、下記のとおり政務活動費を請求します。

記

交付請求額	20,380円		
内 訳	10/12~10/13 青森県八戸市 第85回全国都市問題会議参加負担金及び振込手数料		
支払先	(株)JTB		
予算科目	研究研修費	交付残額	506,838円
使用者名	丸谷 正八郎、朝比奈 大貴		

令和5年9月5日

請求及び受領委任状兼口座振替依頼書

第85回全国都市問題会議 参加者各位

(委任者) 住所 青森県八戸市内丸一丁目1番1号

氏名 第85回全国都市問題会議実行委員会 会長 熊谷 雄一

下記の参加費に係る請求及び受領につきまして、次のものに委任します。

(受任者) 住所 宮城県仙台市青葉区一番町3丁目7番23号 明治安田生命仙台一番町ビル3階

氏名 株式会社JTBジェイネット東北 所長 鎌田 友子

●参加費 第85回全国都市問題会議参加費 お一人様 ￥10,000- (不課税)

なお、請求金の支払いにつきましては下記の口座に振り替えてくださいますようお願いいたします。

銀行名		支店名		預金種目	9. その他 ()
口座番号					
口座名義	(カナ)				

だいしんキャッシュサービス
ご利用明細票

本日はご利用いただきありがとうございます。
ご利用明細票をご確認のうえ、お持ち帰りください。
裏面もご覧ください。

お取扱日	取扱金庫・店番・通番
05 10 04	16300742-2731
お取引店	口座番号
お取引金種	万円 2千円 0円 00円 00円 3円 1
お取引内容	振込 2千円 0円 3円 0円 0
手数料	¥380ページ お取引金額
時刻	14:41 ¥20,000*
説明コード	お取引後残高 *****

お受取人












ご依頼人

000204イヌ"ミオオツシキ"カイ シミン
クラブ" 様 0725331131

印紙税申告納
付に
税務署承認済

大阪信用金庫

支出命令書 (一般)

市長 **	副市長 **	教育長 **	部長 **	次長 **	課長 	課長補佐 	係長 	担当者 
会計管理者 	会計課長 	課長補佐 	係長 	担当者 **	入力 	財政課合議 **	検収者	

起 票 日	令和 5年 9月 27日	所 属	080100 市議会事務局
年度	令和 5 年度	会計	01 一般会計
科目	款	01 議会費	
	項	01 議会費	
	目	01 議会費	
	事業	040000 議会調査研究事業	
	節	18 負担金、補助及び交付金	
	細節	90 その他	
	細々節	06 政務活動費	

金額	81,620 円	控除	所得 税	0 円	タイムカード(出勤簿)確認
支払回数	9 回		雇用 保険料	0 円	源泉徴収確認
負担行為額	600,000 円		そ の 他	0 円	被服貸与台帳記載確認
支出命令済額	174,782 円	請求書番号	控除額合計	0 円	通勤経路及び金額確認
負担行為残額	425,218 円				
源泉支払内容	*****				

件名 旅費 10/11~10/13 青森県八戸市 第85回全国都市問題会議

摘要 丸谷議員

支払方法	21 現金払	支払希望日	令和5年 10月 1 日
住所			
名称	市民クラブ代表者 丸谷 正八郎		
役職等/氏名			
銀行/口座			
口座名義人	債権者番号		

領収 住所 氏名 市民クラブ代表者 丸谷正八郎 領収印 

上記の金額を領収しました。

支払済

令和5年 10月 1 日
泉大津市 会計管理者 あて

支出負担行為 確認

002

負担行為番号
05-002563

伝票番号

05-010649

整理番号

05-000008-09









呼出番号

00539622



05 01 01-01-01 04-00-00 18-90-06

5年 9.27


供	議長	副議長	局長	次長	次長 補佐	議事調 査係長	庶務 係長	主査
覧								

別記様式第5号 (第4条関係)

政務活動費交付請求書

令和5年9月27日

泉大津市長
南出賢一様
(泉大津市議会議長経由)

会派名 市民クラブ
代表者名 丸谷正八郎 

政務活動費交付請求書

泉大津市議会政務活動費の交付に関する規則第4条の規定により、下記のとおり政務活動費を請求します。

記

交付請求額	81,620円		
内 訳	10/11~10/13 青森県八戸市 第85回全国都市問題会議 参加旅費		
支払先	丸谷 正八郎		
予算科目	旅費	交付残額	425,218円
使用者名	丸谷 正八郎		

令和5年度

出張申請書

(出張)

会派名	市民クラブ		氏名	丸谷 正八郎				
出発・帰庁年月日		出発 令和5年10月11日		帰庁 令和5年10月13日				
出張先(順路) 八戸市公会堂・公会堂文化ホール(青森県八戸市内丸一丁目1番1号)								
目的及び用件 第85回全国都市問題会議に参加								
区間	距離	運賃	料金	車賃	宿泊料	日当	食卓料	計
泉大津 (南海本線) 難波	km	円	円	円	円	円	円	円
なんば駅前 (空港リムジンバス 伊丹空港線) 伊丹空港		490		650				490
" (飛行機) 三沢空港		JAL2163便 (スペシャルセイバー) 14,310						650
" (三沢空港連絡バス) 本八戸駅前 本八戸 (八戸線) 八戸	1194.4 6.1		14,080	1,500	2泊 30,000	3日 7,000		14,310
" (東北新幹線) 東京	631.9		特急料金 (はやぶさ) 6,800					38,500
" (東海道新幹線) 新大阪	556.4		特急料金 (のぞみ) 5,810	繁忙期 200				14,080
" (大阪外口御堂筋線) なんば 難波		290						6,800
泉大津 (南海本線)		490						6,010
(線)								290
(線)								490
10月12日の日当については、泉大津市職員旅費条例第23条及び同条例施行規則第4条の例により支給しない。							計	81,620

主管課用

令和5年度

領収書兼旅費明細書

(出張)

会派名	市民クラブ	氏名	丸谷 正八郎
出発・帰庁年月日	出発 令和5年10月11日	帰庁 令和5年10月13日	
出張先(順路)	八戸市公会堂・公会堂文化ホール(青森県八戸市内丸一丁目1番1号)		
目的及び用件	第85回全国都市問題会議に参加		

区間	距離	運賃	料金	車賃	宿泊料	日当	食卓料	計	
	km	円	円	円	円	円	円	円	
泉大津 (南海本線) 難波		490						490	
なんば駅前 (空港リムジンバス 伊丹空港線) 伊丹空港				650				650	
" (飛行機) 三沢空港		JAL2163便 (スペシャルセイバー) 14,310						14,310	
" (三沢空港連絡バス) 本八戸駅前				1,500	2泊 30,000	3日 7,000		38,500	
本八戸 (八戸線) 八戸	1194.4 6.1	14,080						14,080	
" (東北新幹線) 東京	631.9		特急料金 (はやぶさ) 6,800					6,800	
" (東海道新幹線) 新大阪	556.4		特急料金 (のぞみ) 5,810	繁忙期 200				6,010	
" (大阪外口御堂筋線) なんば		290						290	
難波 (南海本線) 泉大津		490						490	
(線)									
(線)									
10月12日の日当については、泉大津市職員旅費条例第23条及び同条例施行規則第4条の例により支給しない。								計	81,620

右の金額領収いたしました。

令和 年 月 日

金額 ￥ 8 1 6 2 0








泉大津市会計管理者 殿

職名 市民クラブ

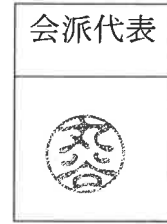
氏名 丸谷 正八郎



□決 裁 ■供 覧

受発記号・番号				收受年月日	令和5年10月16日					
差出 名		市民クラブ 丸谷 正八郎								
あて 名		泉大津市議会議長			提出期限					
收受文書の記号				收受文書の日付	令和5年10月16日					
件 名		報告書								
議長		副議長		事務局長		次長				
								合		
主 管	次長補佐		議事調査係長		庶務係長		主査			
									議	
処 理 上 の 意 見 及 び 注 意 事 項										
<p>日 時：令和5年10月11日（水）～令和5年10月13日（金）</p> <p>出張先：青森県八戸市 八戸市公会堂・公会堂文化ホール</p> <p>目 的：第85回全国都市問題会議に参加</p>										


報 告 書



令和 5 年 10 月 16 日

泉大津市議会議長 殿

(会派名) 市 民 クラブ

出張者氏名 丸谷 正八郎 

下記により出張致しましたので、その概要について報告いたします。

記

- 1、日 時 令和 5 年 10 月 11 日(水) ～ 13 日(金)
- 2、出 張 先 青森県 八戸市
- 3、目 的 第 85 回「全国都市問題会議」

<会 場> 八戸市公会堂・ 公会堂文化ホール

(主 催) 全国市長会、公益財団法人 後藤・安田記念東京都市研究所
公益財団法人 日本都市センター、八戸市

(協 賛) 全国市長会館

4、報告事項

(第1日目) 10月12日(木)

<基調講演>

「アート役割って何だろう？」講師 日比野 克彦 (東京藝術大学長)

1958年岐阜市生まれ (アーティスト)

アートとはいったい何でしょうか？

アートが人に及ぼす機能や可能性を改めて考えてみて、現在社会の中での人に対してのアートの働きを分析してみた。

- ・アートは生きる力
- ・アートは多様性の指針
- ・アートはこころに作用する

アートとは、今までにない未来の姿を想像する力、ここではない場所を想像することが出来る力、ひとり一人の差異を、違いを否定することなく、そこにいることを排除しないという感覚。これからのアートの特性を現在社会を構築していく中での、基盤に据えていくことが出来ていく社会を想像してみましょ。大きな力が世界を動かすのではなく、ひとり一人の小さいけれども確実にある、少しずつ異なった多様な想いが時代を変化させていくような気がします。

<主報告>

「八戸市の文化・スポーツによるまちづくり」 青森県八戸市長 熊谷 雄一

八戸市は、太平洋を臨む北東北東岸に位置し、面積は約305km²、人口約22万人の中核市である。1929年の市制施行以来、全国有数の水産都市として、また東北有数の工業都市、国際物流拠点都市として着実な発展を遂げてきました。

(1) 背景と取組について

- ① 文化によるまちづくり
- ② スポーツによるまちづくり

(2) 文化の力、スポーツの力について

- ① 地域資源を生かす拠点とネットワークをつくること
- ② 関心やテーマに基づくコミュニティと当事者を増やすこと

(3) 今後の展開は開かれたパブリックな場をつくること

お互いの顔や活動が見える空間づくりにより、コミュニティ感覚を醸成し、そこで誘発される交流からより良い社会をつくるイノベーションが生まれるきっかけになれば良いと考えている。

文化とスポーツは、元来、内に閉じるのでは無く他者と交わり外へ開いていく性質を持つものである。多くの価値が集積してこそ人は歩きたくなる。

<一般報告>

「まちづくりの活力は地域に根ざした文化政策から生まれる」

文化事業ディレクター(演出家) 吉川 由美

- ① まちのリノベーションと「はっち」の誕生
- ② 「はっち」のアート・プロジェクト
- ③ 地域社会の分母としての文化をみんなで見出す
- ④ 危機と文化
- ⑤ 地域の活力と魅力の源泉は地域の文化である

インターネット社会は世界を均一化し、デジタル上では誰もがグローバルに最先端のアートに出会い、誰もが名立たる表現者になるチャンスに恵まれている。そんな時代だからこそ、分子としての文化政策より、分母を支える文化政策が求められている。

<一般報告>

「標高差 1,500mの地勢を活かしたスポーツ・ツーリズムの創出」

長野県東御市長 花岡 利夫

東御市は、2004年に2町村が合併して誕生した市である。長野県の東部に位置し、市域は東西14.7km、南北16.5kmで、人口約3万人の小さな市である。

- ① 文化芸術・スポーツが生み出す都市の魅力と発展に向け
- ② 欠点を個性に
- ③ 地域固有の価値を創出し最大限に生かす
- ④ 合言葉は「東御から世界へ」

今回は、高地トレーニングの取り組みを中心に紹介した。地域資源を活用し、地域活性化・健康長寿に取り組むための土壌は以前からあった。

その中に、ワイン(ワイン特区認定の取得)や高地トレーニング(湯の丸高地トレーニング施設)があり、自然の中で遊び、運動することは市民にとっては「特別なこと」ではありません。地域の欠点をそのまま欠点として捉えず、個性として認識し資源として活用したことで、今では水泳関係者の中で知らない人はいないといっても過言ではない状況ができています。

<一般報告>

「まちづくりにおけるプロスポーツクラブの有効活用」

株式会社 鹿島アントラーズ FC 取締役副社長 鈴木 秀樹

- ① 全国に広がるプロスポーツクラブ
- ② 鹿島アントラーズと地域との深いつながり
- ③ 鹿島アントラーズによる地域の社会問題解決
- ④ プロスポーツクラブを有効に使い切る

自治体に望みたいのは、地域の貴重な資源であるプロスポーツクラブの有効活用であり、活用を進めれば自治体だけでできないことが可能になる。社会課題を解決し、まちづくりを推進することができる。だからもっとプロスポーツクラブの力を引き出し使い切ってもらいたい。そのためにプロスポーツクラブは存在すると言っても良い。

5、報告事項

(第2日目) 10月13日(金)

パネルディスカッション

<コーディネーター>

東京大学大学院人文社会系研究科教授 小林 真理

<パネリスト>

合同会社 imajimu 代表取締役 今川 和佳子
拓殖大学商学部教授 松橋 崇史
静岡県沼津市長 頼重 秀一
東京都三鷹市長 清原 慶子
京都府綾部市長 山崎 善也

テーマ「文化芸術・スポーツが生み出す都市の魅力と発展」

1) 一巡した文化芸術を活用したまちづくり

～自治体文化行政から魅力的な街へ～ (小林 真理)

- ① 今、改めて文化への注目
- ② 自治体文化行政の発展と展開
- ③ 文化施設建設と運営の反省と転換
- ④ まちづくりのコアとしての文化・文化施設

1970年代後半から取り組まれた地方自治体の文化行政も50年を経て1つ1つ課題を解決しながら、ようやく都市の魅力のコアとして展開するための足掛かりを掴んだように見える。

2) 八戸の独自性が生み出してきたもの (今川 和佳子)

- ・ 複合的な機能を持つ「はっち」の誕生
- ・ 市民のマンパワーが人をつなぐ
- ・ 郷土芸能とアートの親和性

ここ10数年で複数の文化・スポーツ施設が整備された八戸市。今後いかにして地域に根付

く文化と市民のポジティブなエネルギーや想像力を引き出し続けることができるか。
その次のステージのスタートラインに、今まさに立っているように思う。

3) 地域活性化におけるスポーツの役割とその変化 (松橋 崇史)

- ・ 地域活性化とトップスポーツクラブ
- ・ 地域活性化とスポーツ政策
- ・ 「全力」を可視化するスポーツ
- ・ 多様性を体現するスポーツ

地域活性化に親和性のあるスポーツの特徴として「全力」を可視化すること、多様性を体現することに焦点を当ててみました。変化するスポーツの特徴を捉えること、もしくはスポーツに新たな価値を付与することを通じて、スポーツを地域活性化に活かしていく視点が重要である。

4) スポーツとアニメを活用したにぎわいの創出～誇り高い沼津を目指して～ (頼重 秀一)

- ① スポーツを活かしたまちづくり
 - ・ フェンシングのまち沼津
 - ・ アスルクラロ沼津
 - ・ サイクリストフレンドリーエリア沼津
 - ・ プロスポーツが楽しめるまち沼津
- ② アニメ「ラブライブ！サンシャイン！！」を活かしたまちづくり
 - ・ 聖地巡礼
 - ・ 民間の取り組み
 - ・ 行政の取り組み

スポーツ・アニメを通じ、地域資源の掘り起こしや沼津の魅力発信に取り組んできました。
その結果、多くの方々に沼津にお越し頂き、その皆さんと市民との交流の輪が広がるとともに、新たな市民や企業間の交流が生まれ、多くのビジネスチャンスが創出されました。

5) 文化芸術・スポーツで紡ぐまち・綾部～市民一人1文化・1スポーツの推進～

(山崎 善也)

- ① 市民一人1文化・1スポーツの推進
- ② 受け継がれる文化芸術の礎

③ 合唱のまち・綾部

④ 文化がかおるまち綾部

⑤ 豊かな自然を活かしたスポーツによるまちづくり

住民自身がそれぞれの地域に誇りを持たない限り、定住や交流の促進は覚束なく、その土地を訪ねてきた人に対して住民が自信を持って自分たちのまちの素晴らしさを語ることから地域創生が始まると思う。文化芸術やスポーツの魅力や価値を最大限活用することは、まさにそれを実現できる「鍵」になると確信している。

(所見)

都市の文化芸術・スポーツ政策全般に関して多くの自治体に共通する基本的な視点、姿勢、認識をさらに追求し確認しておくことが必要である。それと同時に、文化芸術・スポーツ政策の具体的な内実や、それらが都市の魅力と発展へとつながるためのプロセスや手法等に関する様々な個別の論点についても議論が深められなければならない。

泉大津市の文化芸術・スポーツ政策について市の特徴を活かした政策立案を検討する必要があると考える。

<閉会式>

1、次期開催市市長挨拶

兵庫県姫路市長

清元 秀泰

2、閉会挨拶

公益財団法人日本都市センター理事

奥山 恵美子

支出命令書 (一般)

市長	副市長	教育長	部長	次長	課長	課長補佐	係長	担当者
**	**	**	**	**	橋本	中	梅谷	梅谷
会計管理者	会計課長	課長補佐	係長	担当者	入力	財政課合議	検収者	
田中	田中	田中	田中	**	田中	**		

起票日	令和 5年 9月 27日	所 属	080100 市議会事務局
年度	令和 5 年度	会計	01 一般会計
科目	款	01 議会費	
	項	01 議会費	
	目	01 議会費	
	事業	040000 議会調査研究事業	
	節	18 負担金、補助及び交付金	
	細節	90 その他	
	細々節	06 政務活動費	

金額	81,620 円	控除	所得 税	0 円	タイムカード(出勤簿)確認
支払回数	10 回		雇用 保険料	0 円	源泉徴収確認
負担行為額	600,000 円		そ の 他	0 円	被服貸与台帳記載確認
支出命令済額	256,402 円		控除額合計	0 円	通勤経路及び金額確認
負担行為残額	343,598 円		請求書番号		
源泉支払内容	*****				

件名 旅費 10/11~10/13 青森県八戸市 第85回全国都市問題会議

摘要 朝比奈議員

支払方法	21 現金払	支払希望日	令和5年 10月10日
住所			
名称	市民クラブ代表者 丸谷 正八郎		
役職等/氏名			
銀行/口座			
口座名義人			
債権者番号			

領収 住所 氏名 市民クラブ代表者 丸谷 正八郎 領収印

上記の金額を領収しました。

支払済

令和5年 10月10日

泉大津市 会計管理者 あて

支出負担行為 確認

002

負担行為番号

05-002563

伝票番号

05-010650

整理番号

05-000008-10









呼出番号

00539625



05 01 01-01-01 04-00-00 18-90-06

5年 9月 27日


供	議長	副議長	局長	次長	次長 補佐	議事調 査係長	庶務 係長	主査
覧								

別記様式第5号 (第4条関係)

政務活動費交付請求書

令和5年9月27日

泉大津市長
南出賢一様
(泉大津市議会議長経由)

会派名 市民クラブ
代表者名 丸谷正八郎 

政務活動費交付請求書

泉大津市議会政務活動費の交付に関する規則第4条の規定により、下記のとおり政務活動費を請求します。

記

交付請求額	81,620円		
内 訳	10/11~10/13 青森県八戸市 第85回全国都市問題会議 参加旅費		
支払先	朝比奈 大貴		
予算科目	旅費	交付残額	343,598円
使用者名	朝比奈 大貴		

令和5年度

出張申請書

(出張)

会派名	市民クラブ		氏名	朝比奈 大貴					
出発・帰庁年月日		出発 令和5年10月11日		帰庁 令和5年10月13日					
出張先(順路)		八戸市公会堂・公会堂文化ホール(青森県八戸市内丸一丁目1番1号)							
目的及び用件		第85回全国都市問題会議に参加							
区間	距離	運賃	料金	車賃	宿泊料	日当	食卓料	計	
泉大津 (南海本線) 難波	km	円 490	円	円	円	円	円	円 490	
なんば駅前 (空港リムジンバス 伊丹空港線) 伊丹空港				650				650	
" (飛行機) 三沢空港		JAL2163便 (スペシャルセイバー) 14,310						14,310	
" (三沢空港連絡バス) 本八戸駅前 本八戸				1,500	2泊 30,000	3日 7,000		38,500	
八戸 (八戸線)	1194.4								
" (東北新幹線) 東京	6.1	14,080						14,080	
" (東海道新幹線) 新大阪	631.9		特急料金 (はやぶさ) 6,800					6,800	
" (東海道新幹線) 新大阪	556.4		特急料金 (のぞみ) 5,810	繁忙期 200				6,010	
" (大阪外環御堂筋線) なんば			290					290	
難波 (南海本線) 泉大津			490					490	
(線)			10月12日の日当については、泉大津市職員旅費条例第23条及び同条例施行規則第4条の例により支給しない。						
(線)									計

主管課用

令和5年度

領収書兼旅費明細書

(出張)

会派名	市民クラブ	氏名	朝比奈 大貴
出発・帰庁年月日	出発 令和5年10月11日	帰庁	令和5年10月13日
出張先(順路)	八戸市公会堂・公会堂文化ホール(青森県八戸市内丸一丁目1番1号)		
目的及び用件	第85回全国都市問題会議に参加		

区間	距離	運賃	料金	車賃	宿泊料	日当	食卓料	計
泉大津 (南海本線) 難波	km	円	円	円	円	円	円	円
なんば駅前 (空港リムジンバス 伊丹空港線) 伊丹空港		490		650				490
" (飛行機) 三沢空港		JAL2163便 (スペシャルセイバー) 14,310						650
" (三沢空港連絡バス) 本八戸駅前 本八戸 (八戸線) 八戸	1194.4 6.1		14,080	1,500	2泊 30,000	3日 7,000		14,310
" (東北新幹線) 東京	631.9		特急料金 (はやぶさ) 6,800					38,500
" (東海道新幹線) 新大阪	556.4		特急料金 (のぞみ) 5,810	繁忙期 200				14,080
" (大阪外環御堂筋線) なんば 難波			290					6,010
泉大津 (南海本線) 泉大津			490					290
(線)								490
(線)								
10月12日の日当については、泉大津市職員旅費条例第23条及び同条例施行規則第4条の例により支給しない。							計	81,620

右の金額領収いたしました。

令和 年 月 日

泉大津市会計管理者 殿








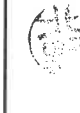
金額 ￥ 8 1 6 2 0

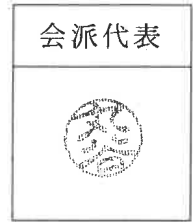
職名 市民クラブ

氏名 朝比奈 大貴



□決 裁 ■供 覧

受発記号・番号				收受年月日	令和5年11月15日			
差 出 名		市民クラブ 朝比奈 大貴						
あ て 名		泉大津市議会議長			提出期限			
收受文書の記号				收受文書の日付	令和5年11月15日			
件 名		報告書						
議長		副議長	事務局長	次長	合 議			
								
主 管	次長補佐	議事調査係長	庶務係長	主査				
								
処 理 上 の 意 見 及 び 注 意 事 項								
<p>日 時：令和5年10月11日（水）～令和5年10月13日（金）</p> <p>出張先：青森県八戸市 八戸市公会堂・公会堂文化ホール</p> <p>目 的：第85回全国都市問題会議に参加</p>								



報 告 書

令和5年**11**月**15**日

泉大津市議会議長 様

(会派名) 市民クラブ

出張者氏名 朝比奈 大貴



下記により出張しましたので、その概要について報告いたします。

記

1. 日 時 令和5年10月11日(水)～10月13日(金)
2. 出張先 青森県八戸市
八戸市公会堂・公会堂文化ホール
3. 目 的 第85回全国都市問題会議
4. 報告事項 別紙添付

報告事項

1 全国都市問題会議 1 日目（12日）

（1）課題解説 文化芸術・スポーツが生み出す都市の魅力と発展

ア 文化芸術・スポーツと都市

文化芸術の振興は各地域の唯一無二のアイデンティティとまちづくりに大きく資するものである。都市は文化芸術の担い手としてどのような役割を持っているのかを検討せねばならない。

イ 文化芸術・スポーツの可能性

文化芸術、スポーツについては経済的効果に加え、伝統的文化の教育という教育的機能も存在する。八戸で行われている「酔っ払いに愛を～横丁オンリーユーシアター」の取り組みは興味深い。市内に存在する横丁群と文化交流施設が連携して、ダンスや舞台などで「物語」を軸としたイベントを展開する。芸術とは人と人との関りから生まれる。文化芸術振興に「飲み屋」というコミュニケーションを楽しむことが前提である要素を絡めた点は特徴的で、興味を生むきっかけとしても非常に良く感じるし、濃密なコミュニケーションから面白い作品が生まれるのではないかと。

ウ 都市自治体に求められる視点

（ア）理念・ビジョンの確立

各事業が孤立した形では、個々の目的に向かってのみ動くことになるので、発展の可能性の幅が狭くなる。体系化が重要であり、そのために理念とビジョンが必要である。

（イ）粘り強い継続的な取り組み

活用のみならず、保護と育成という観点も忘れてはならない。そしてそれは結果が生まれるまで時間を要する。粘り強く取り組むこと。

（ウ）市民の主体性の発揮

市民が文化に対して「する」「みる」「ささえる」と思ってもらえるような主体性の涵養が重要。先にも述べたようにビジョンを示し、それが「我が町」の伝統にフィットしているかを問いレスポンスをもらえるような行政の取り組みが必要である。

(2) 基調講演「アートの役割って何だろう？」

日比野克彦（東京藝大学長／アーティスト）

アートとは人が人らしく生きる力であるという点と、多様性のある社会を築く基盤である。一つの題材をとってみても、十人十色の結果が生まれる。他者との違いがその人の個性として表れるのがアートという存在である。昨今、持続可能な人類への問題提起が世界的潮流になりつつある。これは、産業革命以降の大量消費社会に対する人類が自身へ抱いた危機感の表れから生じていると考える。ゆえに、利己的でなく寛容になり他者を理解し、痛みを分け合う精神を持たねばこれらの問題群は解決しないだろう。そして、他者が他者であると尊重し理解するために、他者の個性が全力で現れるアートというものは、社会的な課題に継続的に取り組んで行くという姿勢を持つ上で、人類が身に着けるべき重要なツールではないだろうか。

(3) 主報告 八戸市の文化・スポーツによるまちづくり

熊谷雄一（青森県八戸市長）

市では文化におけるまちづくりとして、文化交流施設「八戸ポータルミュージアム（はっち）」を核とし、課題解説でも述べた「酔っ払いに愛を〜横丁オンリーユーシアター」プロジェクトで官民連携、市民協働のまちづくりを実現している。スポーツによるまちづくりでは、戦前からスピードスケートの誘致に注力しており、これは現在でも継続している。

この報告を聴いて。先の課題解説での述べた、粘り強い取り組みとビジョンの確立が大いに発揮されていると感じた。ビジョンなき政策に、連帯は生まれない。地域住民を巻き込もうとするなら必ずビジョンが必要であり、そのためにはストーリー性の存在が必要不可欠である。

(4) 一般報告 まちづくりの活力は地域に根ざした文化政策から育まれる。

吉川由美（文化事業ディレクター／演出家）

「八戸ポータルミュージアムはっち」は市の文化部門主体で開設が推進された施設で、まちづくりやアートを中心にした活動の拠点である。ポイントは活性化の中心に何を据えるか。地域固有の文化を据え、それを広める形で行っているのが特筆できる点である。

この講話を聴いて。自分の地域の歴史伝統、文化を知る。知ることで愛着が生まれる。愛着に対しての共感が地域住民に広まれば、地域活動の大きなうねりになることは間違いなく、そしてこれは泉大津においても同様に活かせることだと感じている。

(5) 一般報告 標高差 1500mの地勢を活かしたスポーツ・ツーリズムの創出
花岡利夫（長野県東御市市長）

東御市内における標高差が大きいという立地を活かしたスポーツ振興政策について。高地トレーニングを実践することができるのは環境の強み。

この講話を聴いて。地域の特性（地形や環境を含む）を理解し振興に活かしていく方向性も意識せねばならないと大いに感じた。類似の自治体は全国各地に存在するはずで、そうした地域における事例の吸収が必要である。

(6) 一般報告 まちづくりにおけるプロスポーツクラブの有効活用

鈴木秀樹（株式会社鹿島アントラーズ FC 取締役副社長）

プロスポーツクラブの存在は、地域のまちづくりと密接に関わっていることを感じさせられた。鹿島アントラーズは地域の社会課題の解決のために行政と連携している。アントラーズスポーツクリニックでは、チームドクターらが地域で医療を担っている。本拠地を鹿嶋市に置く同チームの株主は自治体である。元々、重化学工業を主体とする地域で、住金工業蹴球団を発展する形でプロ化を行った。

この講話を聴いて。本市近辺においても堺泉北港を中心とした重工業地域が展開されており、それに伴う社会人スポーツ事業団も存在する。本市ではなく堺市に所在するが、日本製鉄堺ブレイザーズ（Vプレミアリーグ男子。社会人バレーボールリーグ）がそれにあたる。市という行政単位でなく地域一体となってスポーツチームを活性化のために連携していきつつ、接点が生まれることにより愛着が生まれれば、その地域の象徴となり得ると考える。

2 全国都市問題会議 2 日目（13日）

(1) パネルディスカッション

ア 一巡した文化芸術を活用したまちづくり～自治体行政から魅力的なまちへ～

小林真理（東京大学大学院人文社会系研究科教授）

教育者としての観点から、文化ホールと言う施設の建設推進を唱え続けて来た。その結果として、意図する感受性の豊かな人材を創出できたか否か。それは今後の課題でもある。大規模な商業的公演のみならず、本来の機能に立ち返り、自治体が地域文化や住民の参画に軸足を置き、施設を機能させる方向性が問われる。また現在、図書館や美術館など全国的にその傾向は強まっている。

イ 八戸の独自性が生み出してきたもの

今川和佳子（合同会社 imajimu 代表取締役）

単なる美術館や公民館とは違う、複合的能力を持った「はっち」は、これからの地域を核としたコミュニティ形成の手法の一つ。複合的機能とは、「貸館事業」「自主事業」「会所場づくり」が軸。郷土芸能、歴史伝統をテーマにし八戸の地域を再発見するというのが自主事業の狙い。

ウ 地域活性化におけるスポーツの役割とその変化

松橋崇史（拓殖大学商学部教授）

スポーツ界も地域密着がキー。00年代初頭に経営不振に陥った複数のプロ野球球団も、地域密着を核として乗り越えていった。地域に近いという距離感でスポーツを可視化すること。そしてパラリンピックにも代表されるように、多様性を重視する形で幅広い形でスポーツに触れる機会を持つことが重要である。

エ スポーツとアニメを活用したにぎわい創出～誇り高い沼津を目指して～
頼重秀一（静岡県沼津市長）

フェンシングを中心としたスポーツによるまちづくりを目指しているが、それだけでなくアニメを活かしたまちづくりも行っている。講話を聴き、フィルムコミッション事業と、これにスポーツが連動すれば相乗効果も狙え、非常に面白い展開になると感じている。

オ 文化芸術・スポーツで紡ぐまち・綾部-市民一人文化1スポーツの推進-
山崎善也（京都府綾部市長）

合唱を中心としたまちづくりを行っている。同時に、トレイルランといったスポーツ事業にも力を入れている。

以 上